

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-46315

⑤ Int. Cl.⁵
F 21 V 19/00識別記号 庁内整理番号
3 5 0 E 2113-3K

⑬ 公開 平成2年(1990)3月29日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭ 考案の名称 光源ランプの保持構造

⑰ 実 願 昭63-125097

⑱ 出 願 昭63(1988)9月27日

⑲ 考 案 者 鶴 岡 祥 弘 東京都大田区西六郷4丁目28番1号 山武ハネウエル株式会社蒲田工場内

⑲ 考 案 者 宮 川 宏 一 東京都大田区西六郷4丁目28番1号 山武ハネウエル株式会社蒲田工場内

⑳ 出 願 人 山武ハネウエル株式会社 東京都渋谷区渋谷2丁目12番19号

㉑ 代 理 人 弁理士 山川 政樹 外2名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

(1) 上方に開口するランプ挿抜口を有するランプケースと、このランプケース内に挿抜自在に設けられかつ2つの電極間にスプリングによつて弾性保持されランプ挿抜方向に延在する軸線をもつ光源ランプとを備え、この光源ランプの挿入端部がその内部に臨む有底筒状の保持体を前記ランプケースに設けると共に、この保持体内に向かつて前記ランプ挿抜口から前記光源ランプを案内するガイド面を形成したことを特徴とする光源ランプの保持構造。

(2) 請求項1において、前記両電極のうち前記光源ランプの挿入端部と反対側の端部が接続する電極の一部を回転絶縁体によつて囲繞したことを特徴とする光源ランプの保持構造。

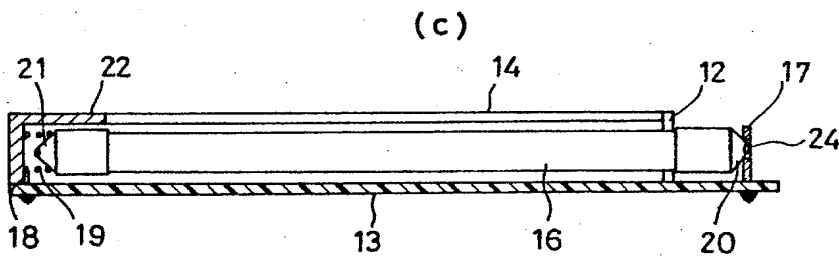
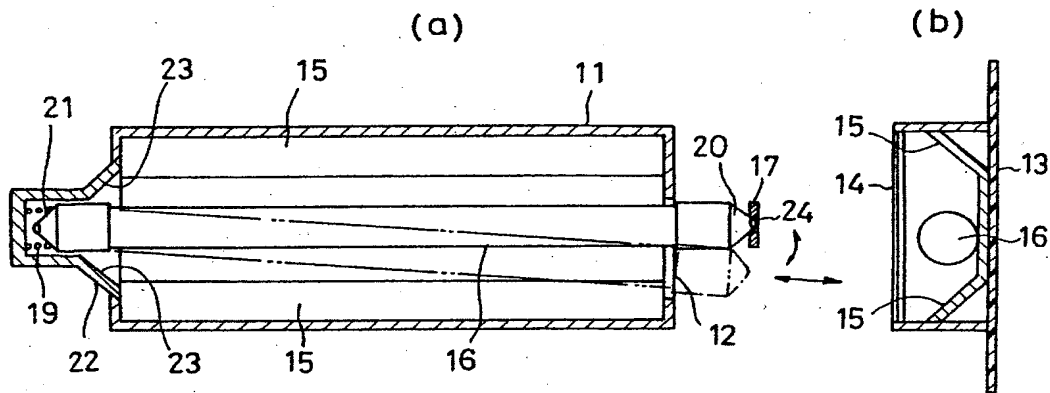
図面の簡単な説明

第1図a～cは本考案に係る光源ランプの保持

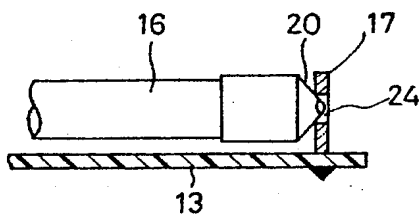
構造を示す断面図、第2図は同じく本考案における光源ランプの保持構造の局部を示す断面図、第3図a～cは光源ランプの着脱手順を説明するための斜視図、第4図aおよびbは他の第2実施例における電極を示す正面図、第5図aおよびbは他の第3実施例における電極を示す正面図と側面図、第6図および第7図は本考案の別の考案に係る光源ランプの保持構造を示す断面図とそのX矢視図、第8図aおよびbは光源ランプの着脱状態を示す断面図、第9図は従来の光源ランプの保持構造の全体を示す断面図、第10図はその要部を示す断面図、第11図は光源ランプの着脱手順を説明するための断面図である。

11……ランプケース、12……ランプ挿抜口、15……リフレクター、16……光源ランプ、17、18……電極、19……コイルスプリング、22……保持体、23……ガイド面。

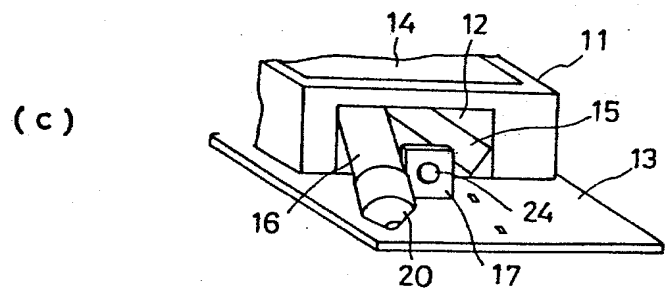
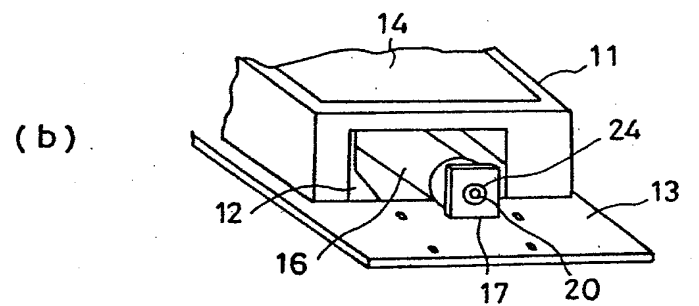
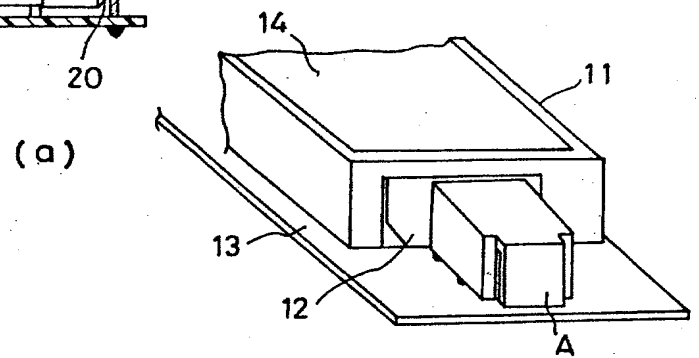
第 1 図



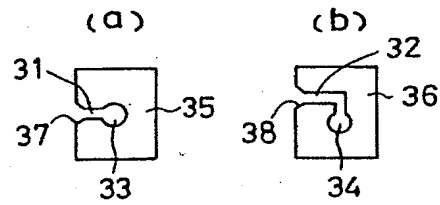
第 2 図



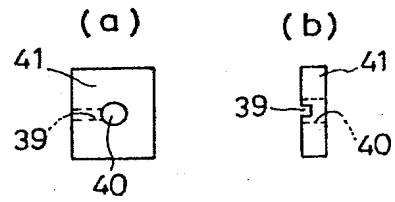
第 3 図



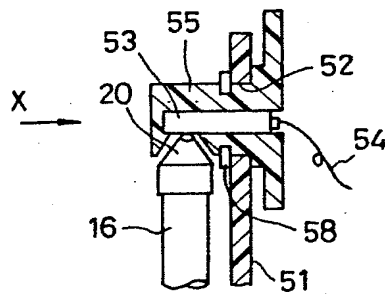
第 4 図



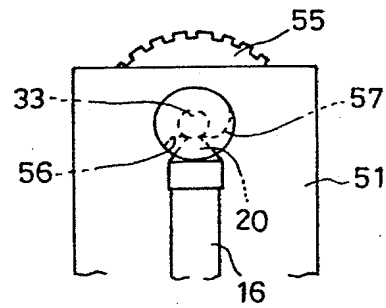
第 5 図



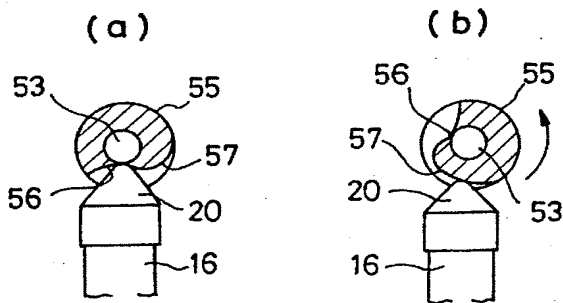
第 6 図



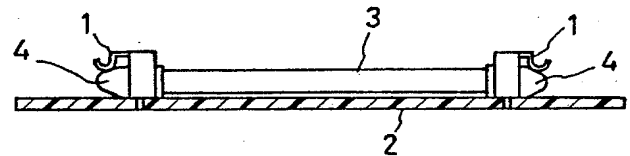
第 7 図



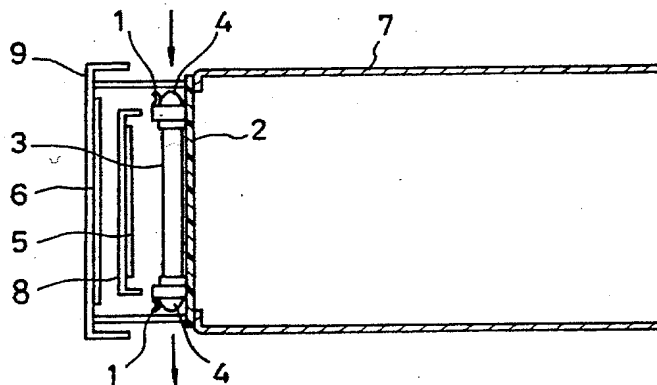
第 8 図



第 10 図



第 9 図



第 11 図

